

## 能登少年自然の家の平成27年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県民ふれあい公社 理事長 北村 修
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
中期経営目標 (H26～H28)	① 利用者を3年間で2%増加させます。 ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

### 1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

#### (1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用団体アンケートの実施(65通) ・利用者ニーズの反映 (野外炊飯場の道具置き場変更、船外機整備) 自主事業の企画・実施 ・「ふれあい昆虫館がやってくる」、「冬のおくりもの」 など5事業の実施(117人参加) 体験活動プログラムの実施 ・海洋チャレンジプログラムの実施 (2回/102人参加) ・子ども自然学校の開催 15プログラム(579人参加)
② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 ・常に新しい情報を提供できるようホームページの充実 ・主催事業広報用リーフレットの作成・配付 ・近隣の小中学校をはじめ、企業や公民館等を訪問するなど施設利用をPR ・新聞等マスコミ関係イベント情報を提供

(2) 平成28年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等マスコミ関係へイベント情報の提供、学校、保育所へイベント案内チラシを配付するなど広報に努める。</li> <li>・既存の活動（追跡ハイキング）に新たに自然とふれあう活動（磯の観察）の付加価値を付けるなどプログラムの充実を図る。</li> <li>・のと海洋ふれあいセンターとの共催活動の展開、満天星、内浦運動公園など近隣施設間の相互活用を通して、魅力ある活動プログラムの提供に努める。</li> </ul>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H24年度 (基準値)	H26年度	H27年度	前年度比	H28年度 (目標値)		
(1) 利用者数	21,994人※	22,890人	23,670人	103.4%	22,400人		
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	99.2%	100.0%	100.0%	0ポイント	95%以上		
施設の維持管理	95.8%	97.1%	100.0%	2.9ポイント	95%以上		

※過去5年間における利用者のばらつきが大きいため、実績値をH20～24の平均とした

<利用者数など利用指標に係る対前年度増減理由>

指標	対前年度増減理由
利用者数	少年団体等利用団体の増加による

<利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数65件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	76.0%	24.0%	0%	0%
施設の維持管理	56.0%	44.0%	0%	0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃：毎日1～2回</li> <li>・特別清掃（床ワックスがけ）：年1回</li> </ul>
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備：年6回</li> <li>・消防用設備：年2回</li> <li>・簡易水道検査：年1回</li> <li>・貯水槽清掃：年1回</li> <li>・鼠、昆虫等の防除（年1回）</li> <li>・合併処理施設 点検（維持管理）月4回×12ヶ月</li> </ul>

(3) 植栽維持管理	・草刈り 適宜
(4) 警備	・施設全体の警備（常駐、夜間警備（宿泊者がいる場合）、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	・船外機整備、厨房水栓修理等

#### 4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡網、危機管理マニュアル、消防計画等の見直し・作成</li> <li>・避難訓練の実施 年2回（5／9、3／13）</li> <li>・海難防止講習会実施 年1回（3／9）</li> </ul>
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき適正に管理

#### 5 収支状況

##### (1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
能登少年自然の家	177	0	
合計	177	0	

##### (2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
食事料	20,968	—	
寝具料	1,628	—	
暖房料	109	—	
その他	357	—	
合計	23,062	0	

## (3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	36,733	人件費	26,075
利用料収入	23,062	光熱水費	5,087
その他	3,331	修繕費	2,444
		その他	26,392
合 計 ①	63,126	合 計 ②	59,998
収支差額 ①-②	3,128		

## 6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成27年4月～10月	ベッドのシーツ等の片付け方法の見本の紙が掲示されていない。	ベッドのシーツ等の片付け方法の写真を各ベッドに掲示した。
平成27年4月～10月	食事について、アレルギー食の対応をしていただき、とても良かった。	事前に、利用団体へ献立を知らせ、できる限り対応している。

## 7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	該当なし	

## 8 その他報告事項など

特になし
------

## 9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、公民館、スポーツ少年団等を訪問し、施設PRに努めるとともに、ホームページの充実を図るなど積極的に情報発信を行っている。</li> <li>・利用者のニーズに応じたプログラムの改善や新規開発を行い、実施している。</li> </ul>
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全性を考慮し、大型カヌーの船外機の整備などに積極的に対応している。</li> <li>・施設内は常に清潔に保たれており、適切な管理がなされている。また、館内の展示を工夫し、利用者の学習環境作りに努めている。</li> </ul>
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置が適切になされている。</li> <li>・非常時の緊急連絡網、消防計画、海洋活動に係る安全規程等が定められ、安全対策が適切である。</li> <li>・関係機関と連携した海難防止講習会を実施している。</li> <li>・個人情報保護や宿直業務など、仕様書等に基づき、適切な管理運営がなされている。</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書等に基づき適切な管理運営をおこなうとともに、施設利用のPRや施設設備の保守点検、修繕にも積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

### ○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

### ○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

## 10 助言・指摘事項

達成感がより感じられる野外活動プログラムや周辺施設と連携したプログラムなど、質の高いプログラムの開発